

開講科目一覧

部門	分野	単位数	学ぶこと	備考
基礎部門(入門)		1 学期・2 学期 4 単位	日本の多言語・多文化化の現状(現場からのゲスト・スピーカー多数)	06 年度より開講
理論部門	歴史	半期 2 単位	日本と世界の多言語・多文化化の歴史	07 年度より開講
	社会・文化	半期 2 単位	多言語・多文化社会にかかわる理論	07 年度より開講
	法・政策	半期 2 単位	国内の外国人を取り巻く法や政策	06 年度より開講
	言語とコミュニケーション	半期 2 単位	異言語・異文化間の言語とコミュニケーションをめぐる問題	07 年度より開講
言語技能(LSP: Language for Specific Purpose)部門		1 学期 2 単位 2 学期 1 単位	「教育」「医療」「災害」「行政」などに特化した言語表現や通訳技術の基本	07 年度より開講
実習部門		3 単位	実習(ボランティア, インターンシップ)を取り入れた授業をおこなう	08 年度開講予定
プレゼンテーション部門		半期 2 単位	Add-on Program の仕上げとして学生がこれまでの経験を総括して発表	08 年度開講予定
合計		20 単位		

履修方法・各科目の詳細は、履修案内および多言語・多文化教育研究センターウェブサイトをご覧ください。

2007 年度 1 学期開講科目

1. 多言語・多文化社会論入門

* 外国人労働者をめぐる具体的な事例について、現場のゲスト講師を招いて考えます。

責任者：青山 亨 4月17日より毎週火曜日 14時50分～16時20分 113教室

日付	テーマ	講師
4/17	オリエンテーション	青山 亨(東京外大)
4/24	授業の導入、アイスブレイキング、グループ分け	杉澤経子(東京外大)
5/8	ビデオ1(フィリピンの親子の事例)問題の抽出	塩原良和(東京外大)
5/15	現場の声：日本で働くフィリピン女性	アガリン長瀬(KAFIN)
5/22	現場の声：外国人の法的地位と在留特別許可制度	山口元一(弁護士)
5/29	議論：フィリピンの孤児院での支援から見える日本社会	横田 宗(ACTION 代表)
6/5	ビデオ2(ペルーの家族の事例)問題群の抽出	青山 亨
6/12	現場の声：日系労働者受け入れの背景と労働の実態	高城一夫(東京外国人雇用サービスセンター室長)
6/19	現場の声：日系労働者から見た日本社会の問題点	イシカワ・エウニセ・アケミ(静岡文化芸術大学)
6/26	現場の声：日本で働く外国人労働者の子どもたち	エレナズ・ジャラリ(亜細亜大学学生)
7/3	現場の声：在日コリアンの子どもたち	宋 賢進(東京朝鮮第二初級学校校長)
7/10	議論と発表：学生によるグループワーク	青山 亨
7/17	議論と発表：学生グループによるプレゼンテーション	青山 亨

2. 多言語・多文化社会論(言語技能入門)

* 教育・司法・医療などの現場における実践的通訳の基礎を学びます。

責任者：川口健一 4月16日より毎週月曜日 10時40分～12時10分 113教室

日付	テーマ	講師
4/16	入門 のオリエンテーション	川口健一(東京外大)
4/23	コミュニティ通訳者に求められる心得・マナー	前田節子(心理カウンセラー)
5/7	外国籍児童生徒支援者から見た教育制度	王慧懂(多文化共生センター東京代表)
5/14	教育現場での通訳実践	王龍 藝群(兵庫県多文化共生サポーター)
5/21	外国籍児童生徒の求める通訳支援	早川秀樹(多文化まちづくり工房代表)他

5/28	通訳から見た司法	川口健一
6/4	司法現場での通訳実践	川口健一
6/11	外国人にとっての医療制度	松野勝民（済生会神奈川県病院ソーシャルワーカー）
6/18	医療現場での通訳実践(1)	前田節子
6/25	医療現場での通訳実践(2)	前田節子
7/2	コミュニティ通訳者としての文化の翻訳(1)	藤谷純子（武蔵野市国際交流協会コーディネーター）
7/9	コミュニティ通訳者としての文化の翻訳(2)	西村明夫（MIC かながわ）
7/23	まとめ	川口健一

3．多言語・多文化社会論（歴史）

* 多言語・多文化社会の歴史的背景を、日本と世界を比較する視点から学びます。

責任者：野本京子 4月12日より毎週木曜日9時～10時30分 114教室

日付	テーマ	講師
4/12	ガイダンス（授業の狙いと方法 対象地域）	野本京子（東京外大）
4/19	日本における多言語・多文化社会の歴史(1)	米谷匡史（東京外大）
4/26	イギリスにおける多言語・多文化社会の歴史 日本との比較の視点から	佐久間孝正（立教大学）
5/10	日本における多言語・多文化社会の歴史(2)	野本京子
5/17	インドネシアにおける多言語・多文化社会の歴史	青山亨（東京外大）
5/24	マレーシアにおける多言語・多文化社会の歴史	左右田直規（東京外大）
5/31	日本における多言語・多文化社会の歴史(3)	河路由佳（東京外大）
6/7	ブラジルにおける多言語・多文化社会の歴史	鈴木 茂（東京外大）
6/14	ロシア・東欧における多言語・多文化社会の歴史	篠原 琢（東京外大）
6/21	アメリカ合衆国における多言語・多文化社会の歴史	佐々木孝弘（東京外大）
6/28	カナダにおける多言語・多文化社会の歴史	大岡栄美（明治学院大・非常勤）
7/5	フランスにおける多言語・多文化社会の歴史	工藤光一（東京外大）
7/12	講義のまとめ	野本京子

4．多言語・多文化社会論（社会・文化）

* 多言語・多文化化する日本社会・文化を多角的な視点で学びます。

責任者：塩原良和 4月13日より毎週金曜日10時40分～12時10分 113教室

日付	テーマ	講師
4/13	ガイダンス（授業の狙いと方法）	塩原良和（東京外大）
4/20	多言語・多文化化する社会(1)外国人労働者と日本の労働市場	鈴木江理子（現代文化研究所）
4/27	多言語・多文化化する社会(2)職場における外国人労働者	五十嵐泰正（日本学術振興会）
5/11	多言語・多文化化する社会(3)都市と多言語・多文化社会	渡戸一郎（明星大学）
5/18	多言語・多文化化する社会(4)エスニック・ビジネス	橋本みゆき（川崎市ふれあい館）
5/25	多言語・多文化化する社会(5)ジェンダーと多文化社会	藤岡美恵子（IMADR）
6/1	中間まとめ（ワークショップ）	塩原良和
6/8	マジョリティを相対化する(1)日本社会の見えない「多文化」	倉石一郎（東京外大）
6/15	マジョリティを相対化する(2)沖縄・小笠原諸島と日本	石原 俊（千葉大学）
6/22	マジョリティを相対化する(3)多文化主義	塩原良和
6/29	マイノリティの経験する「日本」(1)外国人住民への偏見	イスラム・ヒム（会社経営）
7/6	マイノリティの経験する「日本」(2)在日コリアンにおける民族文化振興活動	裴重度（川崎市ふれあい館）
7/13	講義のまとめ（ワークショップ）	塩原良和